2023年度事業報告書

特定非営利活動法人 移動サービスアクセス

はじめに

終結の見えないウクライナ情勢に加えてパレスチナ・ガザ地区での紛争が始まるなど、平和を脅かす状況が増えています。円安や物価高、特に紛争の影響等によるガソリン代の高騰も続いています。
このような中で心苦しくはありましたが、事業継続のために走行距離換算の運送の対価を2023年2月、9年ぶりに改定させて頂きました。
また、設立から20周年でもあった2023年度は、「横浜市地域生活支援サービス(通学通所支援)」を始めてから10年の節目でもありました。この間、障がい児・者やその家族に対して、福祉有償運送の理解や周知ができる相談支援員がとても少ないことを痛感してきました。社会的にも移動サービスの価値を高め、障がい児・者と移動サービスをつなぐ役割を果たし、情報を発信していくために、今年は新たに「相談支援事業」を始めるために定款を変更しました。20年目の新たなチャレンジです。
ここ数年の課題であったメンバー不足については、2024年3月から4月にかけて新たに3名の仲間が増えたことは、大きな喜びでした。
私たちは、引き続きより多くの方々に「豊かな暮らしへのアクセス」を提供するための活動を続けて参ります。

1. 事業内容

（1）特定非営利活動に係る事業

Ⅰ．移動制約者に対する外出支援を行なう福祉有償運送事業

内　　容：だれでもいつでもどこへでも自由に外出できる社会をめざして
　　　　　「車による送迎」と「介助」で外出支援
日　　時：年間を通して
場　　所：青葉区、都筑区、緑区を中心として
従事者人員：運転会員（12名）　横浜市生活支援事業に必要な資格を有しています。
　　　　　介護福祉士2名、ヘルパー2級（初任者研修）3名、知的障害者ガイドヘルパー10名
受益対象者：利用会員3月末現在 32名
　　　　　延べ実利用人数：324人（月平均27人）（前年比92%）
件　　数：2,448件（前年比95%）　2,446トリップ（前年比95%）
　　　　　月平均214.17人トリップ(1人平均6.12回/月)

目的別内訳：①通　院　48トリップ（前年比109%）
　　　　　②通学・通所（ガイドヘルプ事業）　2,246トリップ（前年比　93%）
　　　　　③自費余暇（入居施設⇔自宅,お出かけ等）　152トリップ（前年比 148%）
活動時間：　1,270時間（前年比96%）
事業収入：　2,459,430円（前年比 114%）
支 出 額：　2,586,428円（前年比 112%）

○横浜市福祉有償移動サービス担当横浜市健康福祉局福祉保健課への報告等
「登録事項変更届」(車両の増車)「年間輸送実績報告書」「事故報告」等　必要な届出書を速やかに提出しました。

○ 昨年度に引き続き、横浜市在宅重度障害者福祉タクシー利用券取扱事業者として活動しました。
福祉タクシー券利用者：24名　　利用枚数：1,613枚（前年比107%）　　806,500円
外出支援福祉有償運送ご利用料金の 33%

〔福祉タクシー券利用状況〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用枚数	127	127	122	117	67	44	203	205	242	125	121	113	1,613

Ⅱ．「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（通称　障害者総合支援法）に基づく移動支援事業（横浜市地域生活支援サービス事業）

「通学通所支援」

内　　容：「支援学校」と「自宅」間、
「自宅」と「作業所・地域活動ホーム 等」間を　車（福祉有償運送）で送迎
日　　時：年間を通して
場　　所：青葉区、都筑区、緑区を中心として
従事者人員：運転会員（12名）
受益対象者：利用会員のうち契約者数29名（通学3名　通所26名）
通　学　：　149件（前年比　54%）
通　所　：　2,095件（前年比 102%）
合　計　：　2,244件（前年比　96%）

「移動介護」

内　　容：グループホーム入居者の自宅との往復やショートステイ利用時の送迎
日　　時：年間を通して
場　　所：青葉区、都筑区、緑区を中心として
従事者人員：運転会員（12名）
受益対象者：利用会員のうち9名
件　　数：129件（前年比 161%）

○国保連請求システム（かながわシステム）が5月（4月請求分）から新しくなり、対応しました。
○横浜市ガイドヘルパースキルアップ研修　9/26

（ガイドヘルプ事業全体で）

収入合計：　3,159,440円（前年比 103%）
支 出 額 ：　2,799,832円（前年比 104%）

Ⅲ.「横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱団体」としての事業

内　　　容：支援学校への通学支援、視覚障害者の外出サポート等「横浜市ガイドボランティア制度の周知」および「コーディネートの実施」
日　　　時：年間を通して
場　　　所：青葉区、都筑区、緑区を中心として
従事者人員：コーディネート　1名
受益対象者：支援対象登録者　2名
ボランティア登録数：6名
活動件数　：　　209件（前年比 60%）
手数料収入：49,340円（前年比 68%）
支　出　額：56,600円（前年比 23%）
ガイドボランティア養成研修（視覚障害）：青葉区社協と連携して11/21開催

〔横浜市障害者ガイドボランティア事業の利用状況〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	21	19	19	17	6	25	20	20	16	16	13	17	209

○市健康福祉局福祉課との意見交換会（ガイドボランティア事業、ガイドヘルプ事業について）10/6

Ⅳ. 障がい児・者の生活を支える相談支援事業

研修を受講できず、事業を開始できませんでした。
研修　8/31、9/8に参加
利用者の個別支援会議に出席　9/19　12/1　12/15　3/18　3/27

現在アクセスの利用者は30人ほどですが、個別支援会議への参加要請があったのは5人だけでした。
モニタリングですら電話での聞き取りが何件かあるだけで、大多数は計画相談員との連携もない状況です。利用者の移動・外出を含めた生活をサポートする制度の在り方に問題があると考えます。

Ⅴ. その他、この法人の目的達成に必要な事業

○オンラインでの定例会開催も定着し、出席率も高くなっています。

○県指定NPO、認定NPO年度末報告書類の他、定款変更手続き・法務局登記9/14、それに伴い、定款変更報告等を行いました。
○神奈川W.Co連合会との連携
隔月で開催された『神奈川W.Co連合会在宅福祉W.Co協議会移動サービス部門会議』に参加し他団体との活動の共有や情報交換を行ないました。
会計研修会　12/12

○(特非)かながわ福祉移動サービスネットワークとの連携

定例会において、道路運送法や道路交通法の一部改正について情報共有し、横浜市への報告書式変更や運行管理者の責務について、確認することができました。

全国移動ネットやかながわ移動ネットが主催する各種学習会の情報を共有し研修に参加し、内容を定例会でメンバーに共有しました。

移動支援制度検討会　7/19　シーティング講習会　11/7

○ 理事長が神奈川 W.Co 連合会選出枠の(特非)全国移動サービスネットワーク理事として以下の活動を行ないました。

定例の企画委員会(月 1 回)、理事会(年 3 回)、総会に出席しました。

市町村や社協が主催する「外出支援セミナー」等に講師やアドバイザーとして参加しました。

長野県松本市、静岡県御熱海市、長泉町、西伊豆町、南伊豆町、函南町等

○青葉区移動情報センター推進会議参加　7/13　2/14

青葉区自立支援協議会　相談支援部会　5/31　7/21　9/8　11/9

青葉区事業所連絡会　1/31　自立支援協議会総会 3/14

○その他の「参加型福祉」のまちづくりに寄与する活動

他団体との連携、共育、交流に努めるため、以下の組織やネットワークの定例会議等や学習会に参加しました。

青葉福祉ユニット会議　7/7 総会　9/15　12/1　3/1

○生活クラブ生協はぐくみ共済からの依頼で、白内障手術後の患者さんをご自宅まで送迎しました。

○都筑区の NPO 法人 W.Co ふれあい都筑との協議　1/30

運転スタッフ 1 名、利用者 2 名の引継ぎ

○港北区の NPO 法人鶴の仲間が移動支援事業（横浜市地域生活支援サービス事業）を立ち上げる際に、手続き等のサポートを行いました。また、福祉有償運送や移動支援事業で多くの車いす利用者に対応する同法人に、当会で使用頻度の少なかった福祉車輌を譲渡しました。